

通訳ボランティア入門講座を開催しました

外国人住民が増加する中、病院や学校などで日本語能力が十分でない住民を言語面で支援する通訳ボランティアの必要性が高まってきています。そこで、地域で活動する通訳ボランティアを育成するため、言語能力があり、これから通訳ボランティアとして活動することを希望している方を対象に、入門講座を開催しました。

午前中の基調講演では、杉澤経子氏（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター プロジェクトコーディネーター）に通訳ボランティアの役割について話してもらいました。午後は協会の通訳・翻訳ボランティア登録制度についての説明や体験談のほか、ふじみの国際交流センターが実施している外国人支援やJICAボランティアなどについても取り上げ、言語を使ったボランティアの多様性について理解を図りました。

参加者からは、「通訳ボランティアは高い語学力と知識が必要だと分かった。」「困っている外国人の役に立ちたいので頑張りたい。」といった感想をいただきました。

- 実施日：平成26年9月10日（水） 10:00～15:30
- 会 場：ソニックシティビル4階 市民ホール（JR大宮駅西口徒歩3分）
- 主 催：（公財）埼玉県国際交流協会、（公財）埼玉県産業文化センター
- 参加費：2,000円（協会個人賛助会員 無料）
- 参加者：106人（協会個人賛助会員7人、当日入会87人、未入会12人）
- スケジュール：

時間	内 容	講 師 等
10:00-10:15	開講の挨拶、趣旨説明	
10:15-12:30 (15分休憩)	【基調講演】 「日本の多文化化と通訳ボランティアの役割ーコミュニティ通訳の視点から」	東京外国語大学 多言語・多文化教育研究センター プロジェクトコーディネーター 杉澤経子 氏
	昼 食	
13:30-14:00	【SIA事業概要】 通訳・翻訳ボランティア制度の説明	（公財）埼玉県国際交流協会
14:00-14:30	【通訳体験談】 実際に活動している通訳ボランティアから、活動内容や心がけていることなどを伺います。	SIA通訳・翻訳ボランティア（英語） 中沢佐知子 氏
14:30-15:30	【ボランティアを募集している団体の紹介】 外国人支援を行っているNGOや、海外で活動するボランティアなどを紹介します。	・（特活）ふじみの国際交流センター 代表 石井ナナエ 氏 ・JICA埼玉デスク 国際協力推進員 中野貴之 氏

■ 会場の様子



参加者申込みが多かったため、急ぎよ会場を2倍にしました。



基調講演をした杉澤先生



異文化コミュニケーションの練習をする参加者